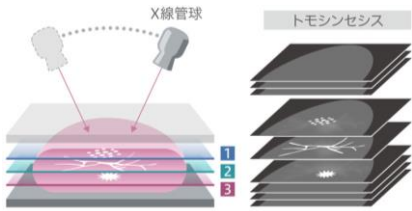


3Dマンモグラフィの機能

トモシンセシス (3Dマンモグラフィ撮影)



1mm間隔で断層画像を撮影することができるので、従来のマンモグラフィ (2D) では発見しづらかった乳腺に埋もれた病変の発見がしやすく、日本人に多い高濃度乳腺の方にも有効な画像診断です。また、従来のマンモグラフィでは乳腺が重なって病変のようにみえてしまっていた正常な方の検査にもトモシンセシスが有効とされています。



2D画像だと厚みがなく乳腺と病変が重なって見えていた



3D画像だと乳腺に埋もれた病変も発見しやすい

なごむね (圧迫自動減圧制御システム)

当装置では乳房圧迫時の痛み軽減を目的に、通常の圧迫完了後に乳房の厚みが変化しない範囲で圧迫の圧を弱める機能を搭載しており、撮影時の最大圧迫時間を低減します。

圧迫時間・被ばく線量 について

- 圧迫時間 3Dマンモグラフィ撮影は、2Dでの撮影時間 + 約4秒 で撮影可能です。
- 被ばく線量 当院での平均乳腺線量は2.04mGy (2D撮影 0.98mGy + 3D<トモシンセシス> 撮影 1.06mGy)

これは、指標とされている診断参考レベルDRL2020「2.4mGy」※を下回る線量です。

※平均的な乳房厚 (PMMA厚40mm, <乳房厚45mm, 脂肪/乳腺=50/50>)における線量

3Dマンモグラフィ ご利用料金

通常料金 (2D撮影料金)

+

1,650円

※通常料金は、お住まいの自治体の補助などによって変動します。詳しい料金は健診センターへお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせ

白岡中央総合病院

健診センター (13番窓口)

 0480-93-0662 (直通)

窓口時間 ※祝日・年末年始を除く
月～金曜 9:00～17:00 / 土曜 9:00～12:30